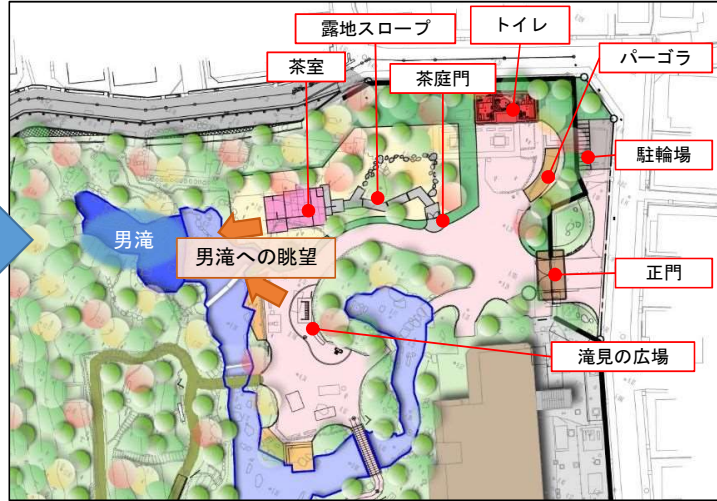
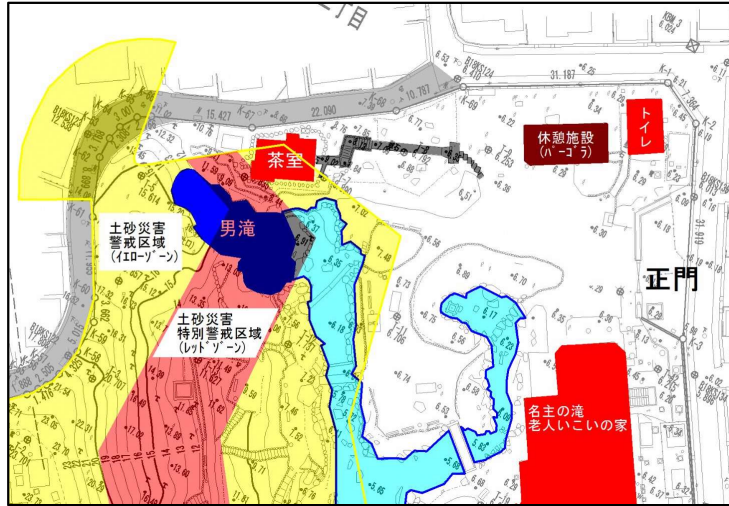




I. 正門～男滝エリア

●整備コンセプト

- ・名主の滝の玄関口としての、風格と気品ある空間への再生整備
- ・風景を眺め、滝の音を聞きながら、心落ち着け、茶を楽しむ空間 さわやかさと詫びのある空間への再生整備

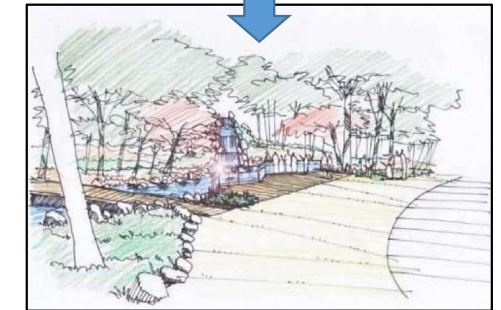


○男滝付近

- ・鑑賞エリアとして親水性のある広場空間へ再生整備
- ・男滝を見通せるよう、趣のある植栽景観への移行
- ・男滝やせせらぎが鑑賞できる 親水性の高いデッキの検討



現況写真（男滝付近）



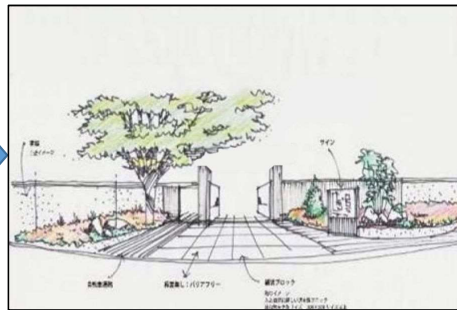
整備イメージ図（男滝付近）

○正門付近

- ・自然石の風合いを持った擬石平板ブロック等を用いた正門通路のバリアフリー化
- ・正門両側に景石などを用いた風格ある空間の演出
- ・正門通路と区分した自転車置き場の整備
- ・誰もが歩きやすい園路となる、バリアフリーを意識した舗装
- ・誰もが使いやすいトイレのバリアフリー化



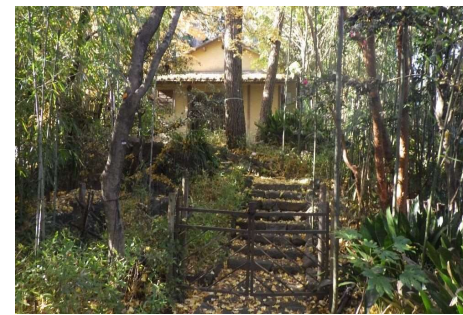
現況写真（正門前）



更新箇所 整備イメージ図（正門前）

○茶室空間

- ・三平坂の拡幅及び土砂災害特別警戒区域に伴う茶室の配置および茶室へのアプローチ等の見直し
- ・茶室までの露地を整備、趣ある茶庭への改修
- ・スロープ露地を整備してのバリアフリー化
- ・茶室利用団体へのヒアリングを基に間取り等の見直し
- ・滝の景観や音を感じられる場所への配置



現況写真（茶室）

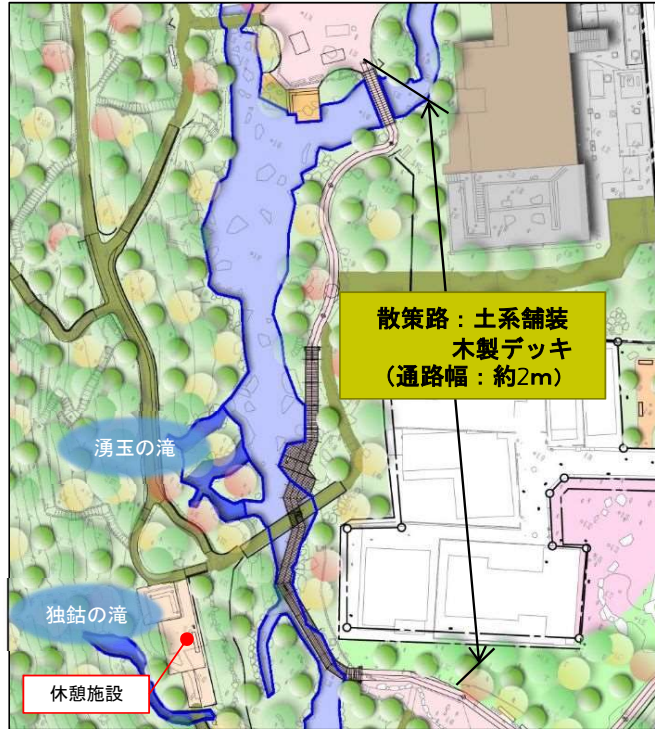
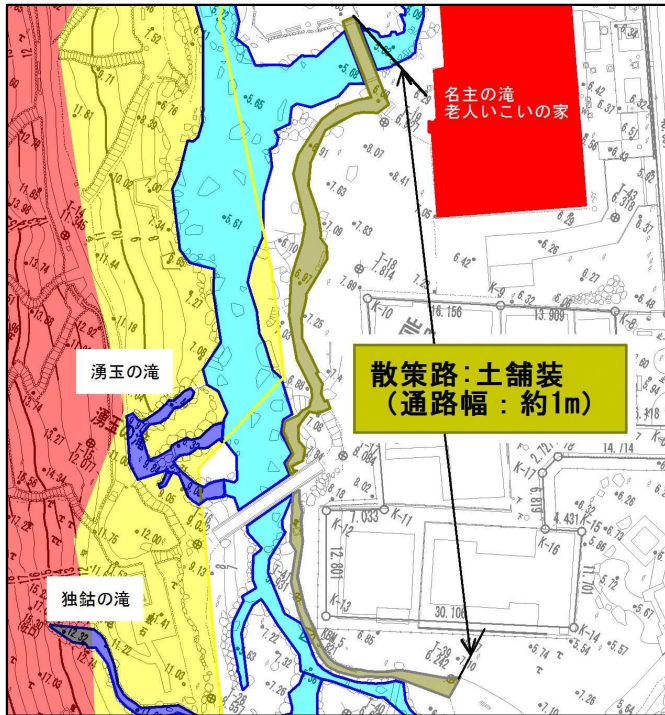


イメージ写真（茶室）

Ⅱ. 薬医門～正門散策エリア

●整備コンセプト

- 薬医門エリアから正門エリアまで、誰もが利用できる散策路を設け、低地部の回遊性を確保



○デッキ通路

- 湧玉の滝やせせらぎを鑑賞できる 親水性の高いデッキの検討



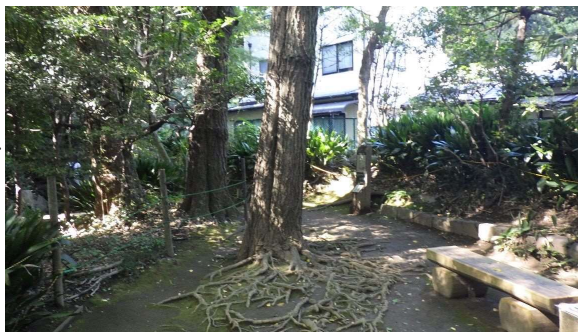
現況写真（デッキ通路）



整備イメージ図（デッキ通路）

○舗装通路

- 誰もが歩きやすい園路となる、バリアフリーを意識した舗装及び幅員確保



現況写真（舗装通路）

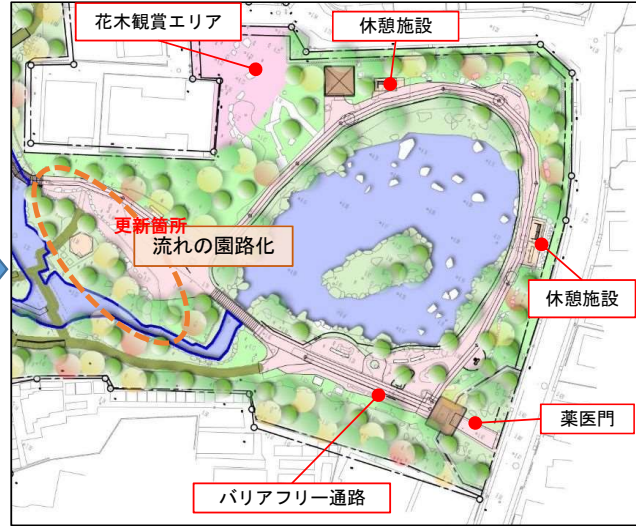
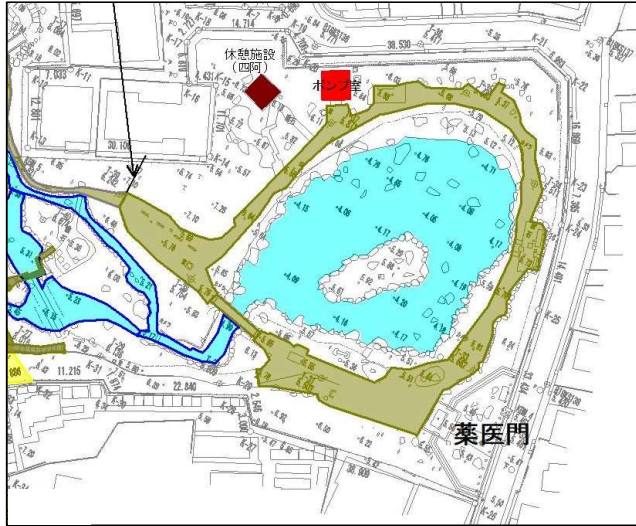


イメージ写真（舗装通路）

Ⅲ. 薬医門～池エリア

●整備コンセプト

- ・名主の滝公園の特徴的な門と池の空間として、荘厳さと爽快さ、うるおいある空間への再生整備



現況写真（花木鑑賞エリア）

○花木鑑賞エリア
・季節感を感じられる
趣のある植栽景観への移行



イメージ写真（花木鑑賞エリア）

○薬医門前

- ・自然石の風合いを持った擬石平板ブロック等を用いての薬医門通路のバリアフリー化
- ・車止め・人止め柵の改修
- ・既存の石敷きや歴史資料は通路の両サイドに移設し、歴史ある施設として保存（現状の敷石を台座に利用したベンチなども検討）



現況写真（薬医門前）



整備イメージ図（正門前）

○池周辺

- ・浚渫やかい掘り等による清らかな池の再生
- ・池周辺の植栽や柵を清らかな池にふさわしい景観への整理
- ・池を回遊する通路の舗装化とバリアフリー化
- ・休憩施設の再配置

更新箇所

水の循環が想定されない流れを撤廃し園路化
バリアフリー通路、休憩スペースの確保



現在使われておらず、水の循環が想定されない流れ



現況写真（池）

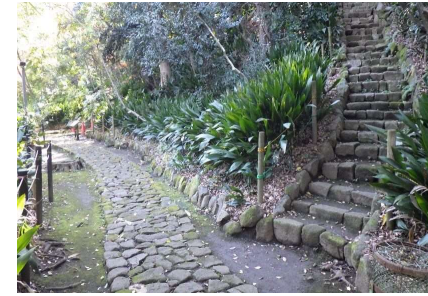
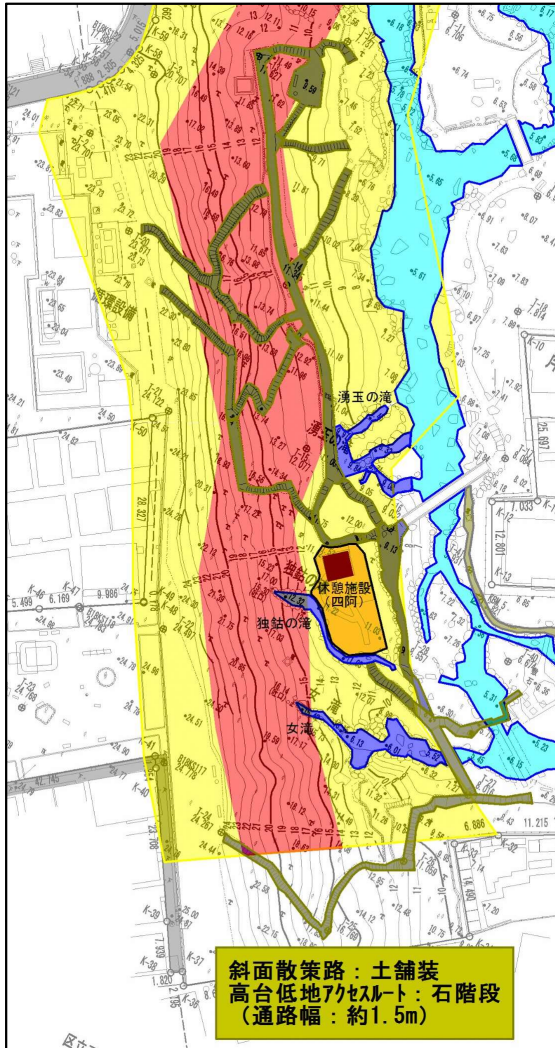


整備イメージ図（池）

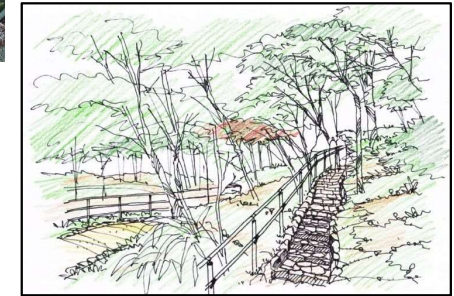
IV. 斜面散策エリア

●整備コンセプト

- ・主となる散策ルートを設定し、深山幽谷美が楽しめる散策空間としての再生整備



現況写真 (斜面散策路)



整備イメージ図 (斜面散策路)



現況写真 (高台地部)



イメージ写真 (高台地部)

○斜面散策路

- ・通路部は歩きやすいよう既存を活かした可能な範囲での整備
- ・階段部の歩きやすい踏面と手摺りの設置
- ・斜面側における部分的な転落防止柵を設置

○見晴らしデッキ

- ・公園全体の回遊性を確保するため、高台地部に目的地となる見晴らしデッキを整備。

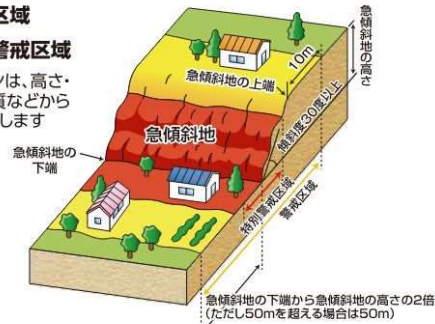
○斜面地対策

- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を解除する目的で斜面地対策を行い、公園の安全性を確保



警戒区域
特別警戒区域

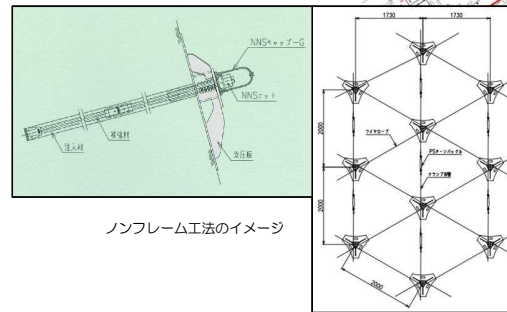
※レッドゾーンは、高さ・傾斜度・土質などから計算で決定します



土砂災害特別警戒区域および土砂災害警戒区域について

＜斜面地対策の方針＞

自然斜面補強土工（ノンフレーム工法）により、斜面の安全を図る



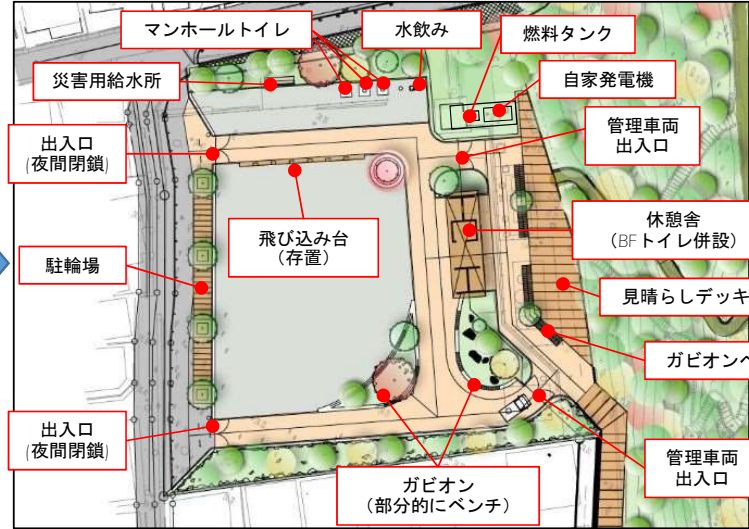
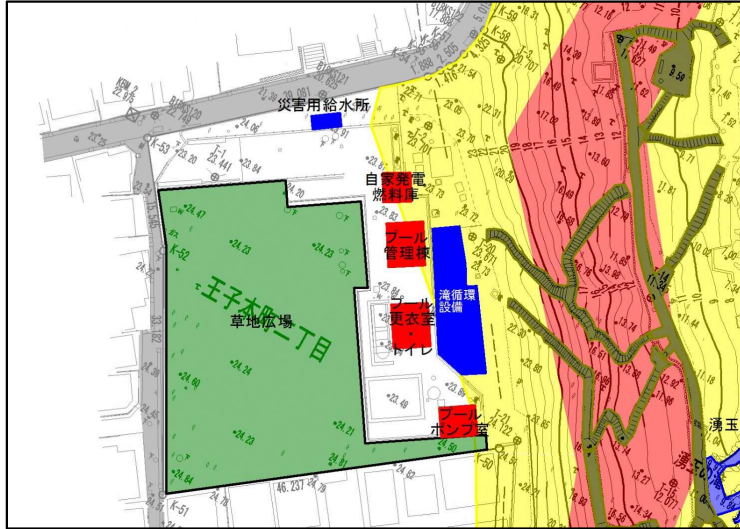
＜ノンフレーム工法の施工事例＞



更新箇所 V. プール跡地エリア

●整備コンセプト

- ・密集市街地において、災害時の「いっとき集合場所」としても活用できるオープンスペースとしての再整備
- ・オープンスペース（洋風）と名主の滝公園庭園部（和風）のコンセプトを分けたゾーニング

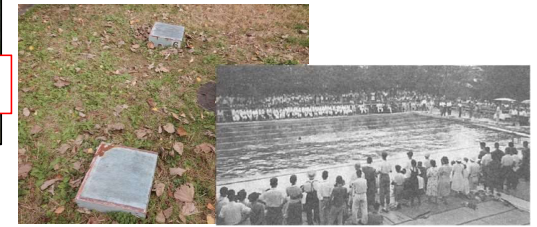


○歴史の継承

- ・公園の歴史が分かる資料を保存・掲示
- ・再整備により使われなくなった公園内の石材を処分せず、ガビオンベンチとして再利用



現況写真（プール跡地）

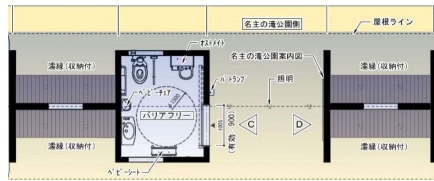


飛び込み台の保存

1941年記録会の様子

○平時の利用

- ・日頃のいこいの空間となるよう休憩施設の導入
- ・通行の安全を確保するための沿道通路（オープン園路）の整備
- ・低地側と行き来できるルートの確保
- ・酷暑や雨天に対応できる屋根付きの休憩舎とバリアフリートイレの設置



ガビオンベンチイメージ



園路イメージ



休憩舎イメージ

○災害時の活用

- ・災害時にいっとき避難できる大きな広場の確保
- ・休憩施設は防災機能を有したものとし、あわせて災害用トイレの設置



マンホールトイレ



公園灯
(停電補償装置付き)

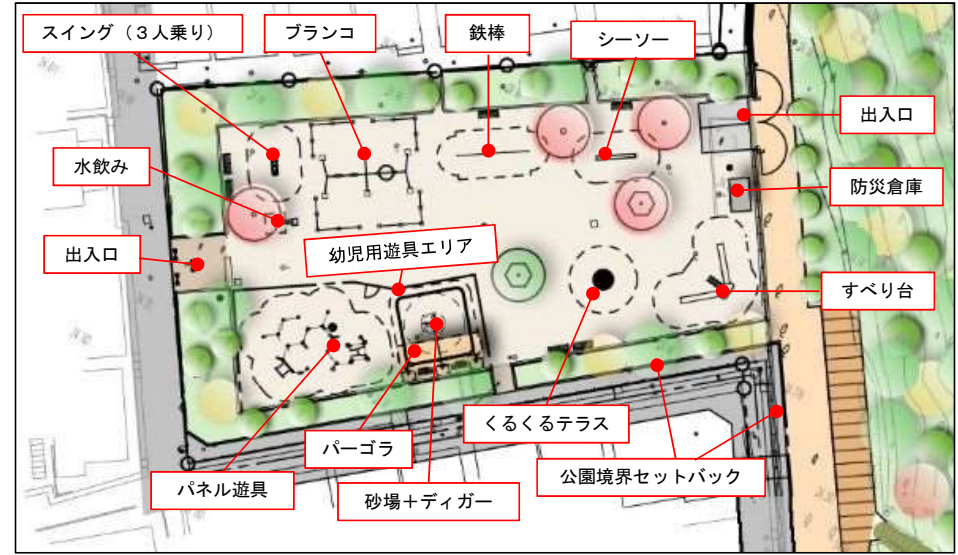


移動式かまど

VI. 児童遊園エリア

●整備コンセプト

- 誰もが楽しめるインクルーシブ対応の子どもの遊び場、地域の憩いの場として、楽しく快適な空間への再生整備



○児童遊園再生整備

- 老朽化した休憩施設や管理施設等の改修
 - 低地側と行き来できるルートの確保
 - 子どもの遊び場として、安全性を確保
 - 緑陰を意識した既存植栽の整理と
- 更新箇所** 砂場には日陰が多くできるタイプのパーゴラを配置し、健康への配慮



パーゴライメージ



現況写真 (児童遊園エリア)



入り口イメージ (ボール飛び出し抑止)



エリア分けイメージ (幼児用遊具エリア)

更新箇所

○遊具施設

- 誰もが遊べるインクルーシブ遊具の導入
- 砂場には猫除けのフェンスを設置し、衛生面へ配慮



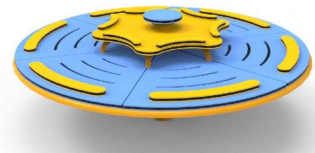
ブランコ ※インクルーシブ遊具



パネル遊具 ※一部インクルーシブ対応



シーソー



くるくるテラス ※インクルーシブ遊具



ディガー ※砂場内

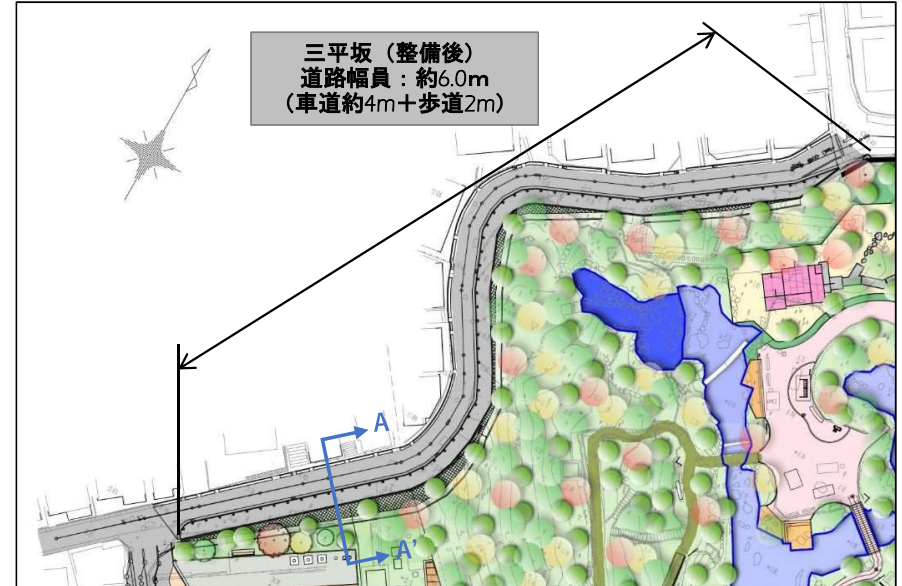
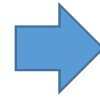
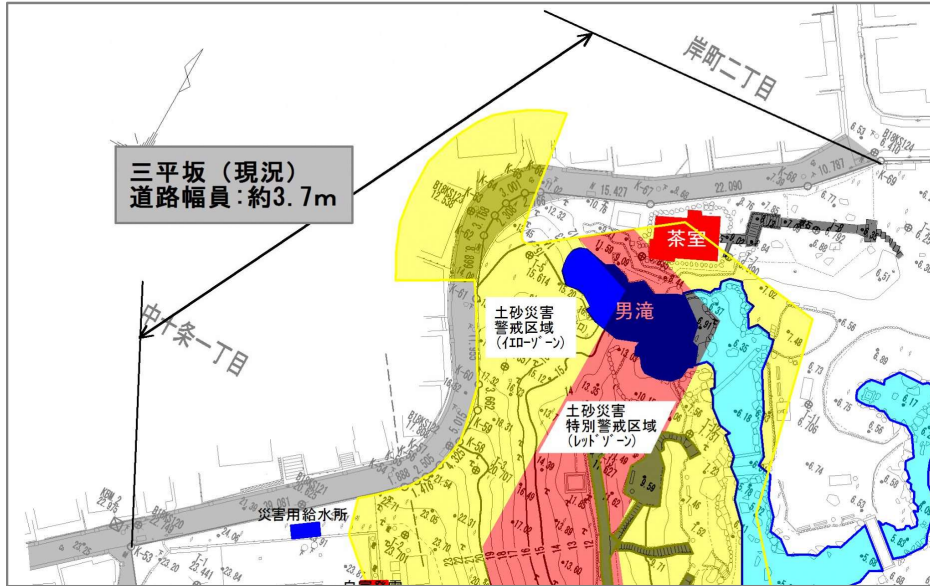


スイング (3人乗り)

Ⅶ. 三平坂エリア

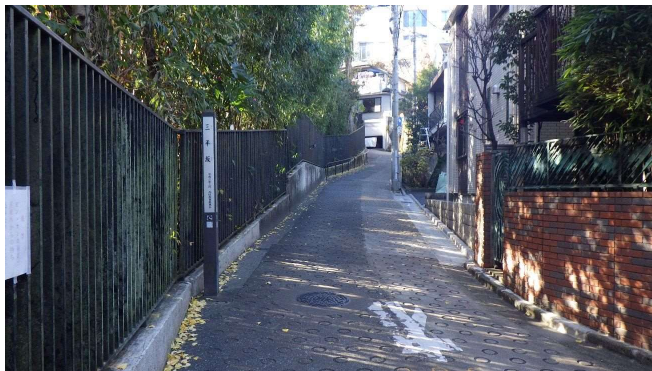
●整備コンセプト

- 「主要生活道路」としての位置づけを踏まえ、全幅6mとして拡幅整備



○三平坂拡幅整備

- 道路拡幅のための公園境界部のセットバック これに伴う公園の擁壁、フェンス等の後退
- 公園側に2mの歩道確保



現況写真（三平坂 低地側より）



現況写真（三平坂 高台側より）

更新箇所

○標準断面図(A-A')

